

ボスニア・ヘルツェゴビナ(BH)情勢月報(平成30年12月分)

平成31年3月

在ボスニア・ヘルツェゴビナ日本国大使館

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

(2) エンティティ、特別区

ア ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

イ スルプスカ共和国(RS)

当該月、ブルチュコ特別区に関する主だったニュースはなし

2. 外政

(1) 多国間、国際・地域機構 (EU加盟プロセスを含む)

(2) 二国間関係

(3) 日・BH関係

3. 経済

(1) 経済政策、公共事業

(2) 経済協力

当該月、民間セクターに関する主だったニュースはなし

(注: 以下は、現地紙など公開情報をとりまとめたものです。)

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

BH議会下院、発足会合を実施(6日)

6日、BH議会下院は発足会合を実施し、クリシュト議長(HDZ、クロアチア系、再任)、ズビズディッチ第一副議長(SDA、ボシュニャク系、現BH閣僚評議会議長)及びラドマノビッチ第二副議長(SNSD、セルビア系、元閣僚評議会メンバー)を選出した。一方で、BH議会上院は、議員指名権を持つBH連邦議会上院が未発足であることから、発足の目処が立っていない。

BH大統領評議会、20カ国以上の大使の

召還を決定(18日)

18日、大統領評議会は会合を行い、日本や英国、独、クロアチア及びセルビアを含む20カ国以上のBH大使の召還を決定した。右は、大統領評議会メンバーの出身政党が変わったことに影響を受けたもので、セルビア系とクロアチア系の大使が対象。ボシュニャク系の大使については留任。

(2) エンティティ、特別区

ア ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

中央選管、BH連邦議会上院議員の選出方法を決定して発表(18日)

18日、中央選挙管理委員会は、BH憲法裁判所の違憲判決とその未履行によりBH選挙

法から削除されたままの状態となっているBH連邦議会上院議員の選出規則に関し、BH選挙法その他条項に基づき決定した。右決定によれば、選出に当たり依拠する国政調査は1991年ではなく最新の2013年のものとし、3構成民族のボシュニャク系、クロアチア系、セルビア系はそれぞれ各カントンから少なくとも1名ずつ選出される。

本決定は、BH連邦議会上院のみならず、BH連邦政府、BH議会上院の立上げも可能にするもので、EU代表部と米国大使館は本決定を歓迎する旨の共同声明を発表。一方で、本件をめぐる利害が対立しているボシュニャク系及びクロアチア系の政党は、双方が本決定を不服とし、BH憲法裁判所に申し立てる旨発表した。

イ スルブスカ共和国(RS)

チュブリロビッチRS国民議会議長、新党DEMOSを立上げ

1日、チュブリロビッチRS国民議会議長を含むDNSから除名された同議会議員等が新しい政治グループを設立。その後、除名された議員と右を支持する党员による会合が開催され、党员のDNS離脱とチュブリロビッチ議長を党首とする新党「DEMOS(民主主義同盟)」の立上げを決定。右に対し、バニャ・ルーカ、ドボイ、ピェリナ等のDNS主要地方支部が新党への参加を表明し、DNSの分裂が加速。

ビシュコビッチ首相率いるRS新政権の発足(17日)

17日、RS国民議会が開催され、ビシュコビッチSNSD副党首を首相とし、SNSD、DNS、DEMOS、NDP等が参加したRS新政府が発足した。ビシュコビッチ首相は所信表明におい

て、生産性と競争力の強化による経済改革、賃金水準の向上及び持続可能な医療制度の構築等を主要政策として提示した。

2019年度RS予算の成立(23日)

23日、RS国民議会は、EUの改革計画に基づいた2019~21年RS経済改革計画を採択した他、前年比4.9%減の32億5,000万KM(約16億6,170万ユーロ)で2019年予算を採択した。なお、歳入の約40%は間接税収入に頼っており、歳出の約34%は年金が占めている。

RS警察、青年の不審死をめぐる抗議運動を大規模制圧(25日)

25日、RS警察は、バニャ・ルーカ市郊外で発生した青年の不審死をめぐる、2018年3月からバニャ・ルーカ中心部の広場で続いている抗議運動に対して、特殊部隊を派遣して抗議運動を制圧した上、青年の両親及び同運動に参加していたボレノビッチPDP党首(野党、BH議会下院議員)等を逮捕した。

2. 外政

(1) 多国籍、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

PIC・SBと大統領評議会との会合からドディック議長、退出(5日)

4~5日、サラエボにおいて、日本も参加する和平履行評議会(PIC)運営委員会(SB)の政務局長会合が開催された。5日、同会合は新大統領評議会と会合を行ったが、ドディック議長(セルビア系)は、会合の開始後、同議長が要求したRS旗が大統領府内の会議室に掲揚されていないとして、議長代理をコムシッチ・

メンバー(クロアチア系)に任せて、退出した。

NATO外相理事会、BHのMAPの初年度年次計画の提出を承認(5日)

5日、NATO外相理事会は、BHが「加盟のための行動計画(MAP)」の初年度年次計画を提出することを承認した。右により、国防不動産の登録という条件が達成できずに棚上げされていたBHのMAPは、初年度年次計画を提出すれば、開始されることになる。一方で、ドディック大統領評議会議長を始めとするセルビア系政治家は、BHのNATO加盟のみならず年次計画の提出にも反対を表明している。

元上級代表等、クロアチアによる内政干渉を非難(6日)

6日、ビルト、アッシュダウン及びシュワルツ＝シリングの元上級代表3名がモゲリーニEU外交安全保障政策上級代表に対して、クロアチアによるBHの政治プロセスに対する干渉を非難する公開書簡を送付した。これに対し、クロアチアは、クロアチアの行為は内政干渉ではなく、クロアチア憲法や国際社会の義務を果たしているだけであるとして反論した。

(2)二国間関係

コソボ、対BH関税の引き下げに合意せず(3日)

3日、ハーン欧州近隣政策・拡大交渉担当欧州委員がコソボを訪問し、11月21日にコソボ政府が決定したBH及びセルビアに対する100%関税の引き下げを求めたが、コソボ側は応じなかった。

クロアチア議会、「BHにおけるクロアチア人の地位に関する宣言」を採択(14日)

14日、クロアチア議会が、BHのクロアチア系が構成民族として他の2民族と平等な権利を獲得するためのBH憲法及び選挙法の改正を要求する旨の「BHにおけるクロアチア人の地位に関する宣言」を採択した。右に対し、BHのクロアチア系最大民族政党のチョービッチHDZ党首は、同宣言に満足と感謝を表明したが、SDAを始めとするボシュニャク系政党や社会民主主義政党は、隣国の憲法改正を求めるクロアチア議会の宣言はBHの主権を侵害する悪しき行いであるとして強く非難し、BH大統領評議会及び閣僚評議会に、クロアチアに対して直ちに断固たる対応を取るよう要求した。

サリバン米国務副長官のBH訪問(17日)

17日、サリバン米国務副長官がBHを訪問し、BH大統領評議会、BH閣僚評議会等と会談を行った。サリバン副長官は会談を通し、米国がBHのEU加盟及び、とりわけNATO加盟プロセスを強く支持していることを強調した他、米国はドディック大統領評議会議長に対する制裁に関して立場を変更していないが、あくまで大統領評議会という組織に対する敬意から、今回同議長との間で会談を行った旨述べた。

BH・中国間、観光促進に関する覚書に署名(18日)

18日、北京において、王超・中国部外交部副部長主催の「16+1」メカニズムに関する会議に出席したシャロビッチBH副首相兼対外貿易経済関係相は、同日、ラク樹剛・中国文化部部長との間に、観光促進に関する覚書を締結した。覚書によれば、来年のBHを訪れる中国人観光客数を、一般査証免除導入前の2倍である10万人にすることを目指している。

(3) 日・BH関係

西バルカン・ビジネスセミナーの開催(7日)

7日、東京のJETRO本部において、訪日中の西バルカン各国の商工会議所代表を招き、外務省、JETRO及び西バルカン商工会議所投資フォーラム(CIF)の共催の下、西バルカン・ビジネスセミナーが開催された。BHからは対外貿易会議所(FTC)のアリシュコビッチ輸出促進局長が出席し、BHの労働者の質の高さやEU市場への無関税等投資におけるBHの魅力を発信した。同セミナーには、90社122名の日本企業関係者が出席した。

3. 経済

(1) 経済政策、公共事業、

5月にサラエボで実施されるEBRD総会に向けた資金の確保

4日付当地紙によれば、BH閣僚評議会は、2019年5月7～9日にサラエボで開催される欧州復興開発銀行(EBRD)総会に向け、BH対外貿易経済関係省に対し、30万KM(約15万ユーロ)を2018年予算の内部留保より付与した。今後更に200万KM(約100万ユーロ)が準備金として付与される見通し。

BH・中国及び遼寧省間の経済関係の向上

11日付当地紙によれば、シャロビッチ副首相兼BH対外貿易経済関係相は、BHを訪問した遼寧省の陳求発省長と会談を行い、経済関係の強化につき協議した。シャロビッチ大臣は、2018年の対中国貿易額は7億5,000万ユーロに到達する見込みで、これはBHにとり非常に大きな進歩であると強調。会談では更なる関係発展に向けた環境整備に向け合

意することが出来たと評価した。陳省長は、貿易額の拡大において、BHからの農作物及び食料品、中でもワインとジュース、はちみつの輸入に関心を示した。

RS・中国間、バニャ・ルーカ＝プリエドル間高速道路のコンセッション契約に署名

16日付当地電子メディアによれば、RS政府は、中国山東国際経済技術合作公司(CSI)との間で、バニャ・ルーカ＝プリエドル間の42kmの高速道路建設(3年間)と運営(30年間)に関するコンセッション契約を締結したことを発表。同契約の総額は2億9,700万ユーロ相当に上る。なお、CSIは、12月の初め、正式契約の条件としてRS政府に一時金440万ユーロを支払った。

スロベニアにおけるBH労働者が4万人を超過

20日付当地紙によれば、スロベニアの労働人口の外国人割合は約10%で、毎年約20%の割合で増加している。中でも、BH出身者が最多で42,600人。次にセルビアの10,800人、クロアチアが7,500人と続く。スロベニアで外国人労働者が従事しているのは、主に建設業、製造業、運輸倉庫業等。

(2) 経済協力

スイスによるマイクロ・ファイナンス・プロジェクト署名式(10日)

10日、スイス国際開発協力機構(SIDA)は、BHの若者の起業に対するマイクロ・ファイナンスを行うモザイク基金と協力したプロジェクトの署名式を実施した。署名が行われたのは、43の応募から2か月の選考期間を経て選ばれた16の若者によるマイクロ・ビジネスで、B

H全土12都市にて実施予定。

(了)